



—外国語活動の研究授業・校内研修を通して—

巡回各校において外国語活動の校内研修も進んでいます。

私は半年間の期限付ですので、各校でできることは限られますが、相談させていただきながら順次取り組みたいと思います。今回は研究授業・校内研修(予定を含む)の様子を紹介します。

■ 本室蘭小の研修

● 授業参観&研究授業(全校研)&リレー授業

▶ 1~4年担任の先生方の授業参観〔5月25日(水)より〕

巡回教諭がT1, 学級担任がT2で行う外国語活動を1~4年担任の先生方が参観しました。インタビュー活動では一緒に参加もしていただきました。

▶ 全校研究授業・研究協議〔7月19日(火)〕

外国語担当の先生がT1, 学級担任と巡回教諭が共にT2で研究授業を行いました。

一つの単元の指導計画を三者で協力して作成し研究授業を行うことを通して、単元計画の考え方・立て方を研修しました。

また、一定時間を確保した研究授業・協議の場を通して全校的な共通理解を図りました。

▶ 1~4年担任の先生方のリレー授業〔2学期予定〕

1~4年担任の先生方がT1, 巡回教諭がT2で外国語活動の授業を行う予定です(基本形)。

一単元4時間の授業を1時間ずつリレー形式で行うことを計画しています。

実際には、臨機応変にT1・T2になる授業を体験していただくことになるかと思えます。

▶ 具体的な研修が着々と進んでいる本室蘭小です。授業公開をしてくださった佐藤先生・水野先生ありがとうございました。



■ 胆振管内厚真町の実践から

今回は、同じ胆振管内東部の厚真町の英語教育の様子を紹介します。

全町挙げて英語教育に取り組んでいる自治体としてご存知の方も多いかと思えます。

厚真町は、平成24年度から文部科学省教育課程特例校として、1年生から4年生までに「英語活動」を設置、5・6年生の外国語活動を充実させ、中学校の「総合英語(英語科と総合的な学習の時間との連携を図ったカリキュラム)」とのスムーズな接続を図るなど、管内では先進的な取り組みをしてきました。

平成27年度からは、小中連携をさらに充実させることを目指し、5・6年生と中学校に「コミュニケーション科」を設置、加えて小学校にはモジュール授業「E-タイム」を設けて実践しています。

9月2日(金)には、特例校指定2/3年次の「英語活動・コミュニケーション科研究発表会」公開を予定しています。

後日案内が各校に届くかと思えますが、都合が付けば参加の検討をされてはいかがでしょうか。

文部科学省初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 直山木綿子 教科調査官 のご講演もあります。